

遠野の観光振興について

えにし
～百年の縁を100年続く絆に～

平成23年1月28日
岩手県遠野市

遠野市の概要



位置



概要

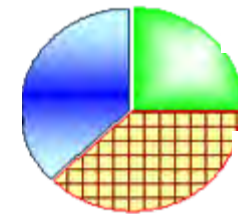
- 人口：30,221人(H22年12月31日現在)
- 世帯数：10,676世帯
- 面積：825.62km²(約80%が山林原野)

歴史

- 遠野南部家(1万2千5百石)
内陸と沿岸を結ぶ城下町
- 明治・昭和の大合併を経て、
遠野市、宮守村が誕生
- 平成17年10月1日1市1村が合併して
新「遠野市」が誕生

- 産業別就業者：1万6千人

3次産業
47.3%



1次産業 23.4%

2次産業 29.1%

- 市内純生産額

3次産業
61.4%

1次産業 5.3%

2次産業 38.0%

これまでの遠野市の観光 ～観光のまちづくり～



まちづくりの基本理念

遠野スタイルの創造

地域の特性や資源を活かすこと

市民が主体性を持つこと

市民協働

自分たちのまちをより良くしようと行動すること

均衡横並び、ないものねだり
…からの脱却

●少ない予算 → 知恵と工夫を結集

●人員不足 → 新たな公と市民協働

●社会資本整備の遅れ → 豊かな自然と環境先進地

●人口減少 → 交流人口の拡大

●遠野市の将来像

永遠の日本のふるさと遠野

●元気がでる

10のプロジェクト

- 産業創造プロジェクト
- 医療・健康づくりプロジェクト
- 少子化対策・子育て支援プロジェクト
- 人と地域の支え愛プロジェクト
- 地域教育プロジェクト
- 馬事振興プロジェクト
- まちなか賑わい創出プロジェクト
- 交流・定住促進プロジェクト
- 心の所得倍増プロジェクト



基礎

柳田國男著「遠野物語」

明治43年（1910年） 350冊自費出版

平成22年6月14日 遠野物語発刊100周年



- 1 民俗学者・マスメディア等による遠野の紹介
- 2 昭和45年の岩手国体を契機
 - ・国体以前は、早池峰山の観光ルートや高原観光(貞任・荒川)
 - ・国体以後は、「遠野物語」ゆかりの地の観光ルート化
- 3 観光施設の整備
 - ・昭和55年 遠野市立博物館オープン
 - ・昭和57年 前年たかむろ水光園オープン
 - ・昭和59年 伝承園オープン
 - ・昭和61年 とおの昔話村オープン
 - ・平成 8年 遠野ふるさと村、JRフォルクローロ遠野オープン
 - ・平成10年 遠野風の丘オープン（6月30日）
 - ・平成22年 遠野市立博物館リニューアルオープン





キーワード

郷土芸能の継承・体験・体感・自然との共生



- 1 グリーンツーリズム・都市と農村との交流拡大
 - ・遠野ツーリズムの提唱
 - ・NPO法人遠野山・里・暮らしネットワークの活動
- 2 日本のふるさと再生特区
 - ・農家民宿における簡易な消防用設備等の設置容認
 - ・特定農業者による濁酒の製造
 - ・農地又は採草放牧地の特定法人への貸付
- 3 民話のふるさと遠野大使
 - ・平成11年当初 12名
 - ・平成22年現在 8名



これまでの遠野市の観光 ～観光のまちづくり～



観光客入込数の推移

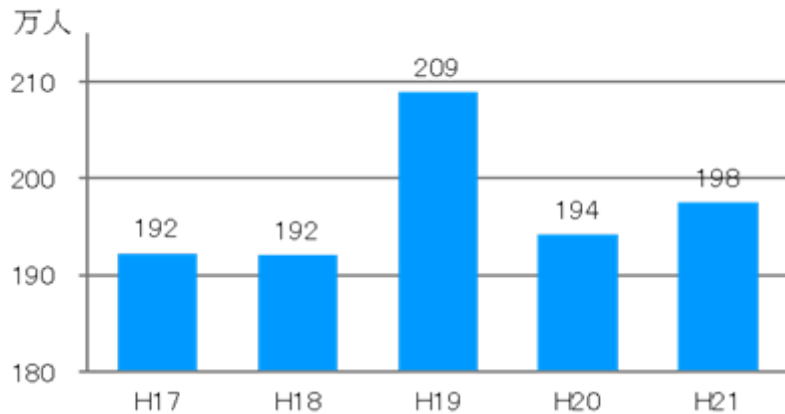
単位(人)

	H17	H18	H19	H20	H21
遠野盆地	1,523,781	1,515,429	1,687,514	1,519,773	1,540,912
宮守町	384,245	392,077	387,128	408,106	418,805
早池峰山	14,841	13,693	14,861	14,372	15,845
合計	1,922,867	1,921,199	2,089,503	1,942,251	1,975,562
道の駅除き	622,787	609,420	662,267	586,547	519,102

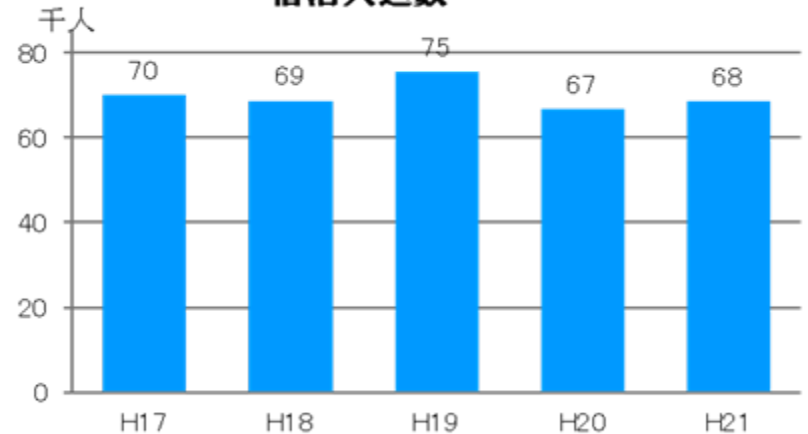
単位(人)

宿泊計	H17	H18	H19	H20	H21
	70,013	68,650	75,353	66,597	68,395

観光客入込数



宿泊入込数



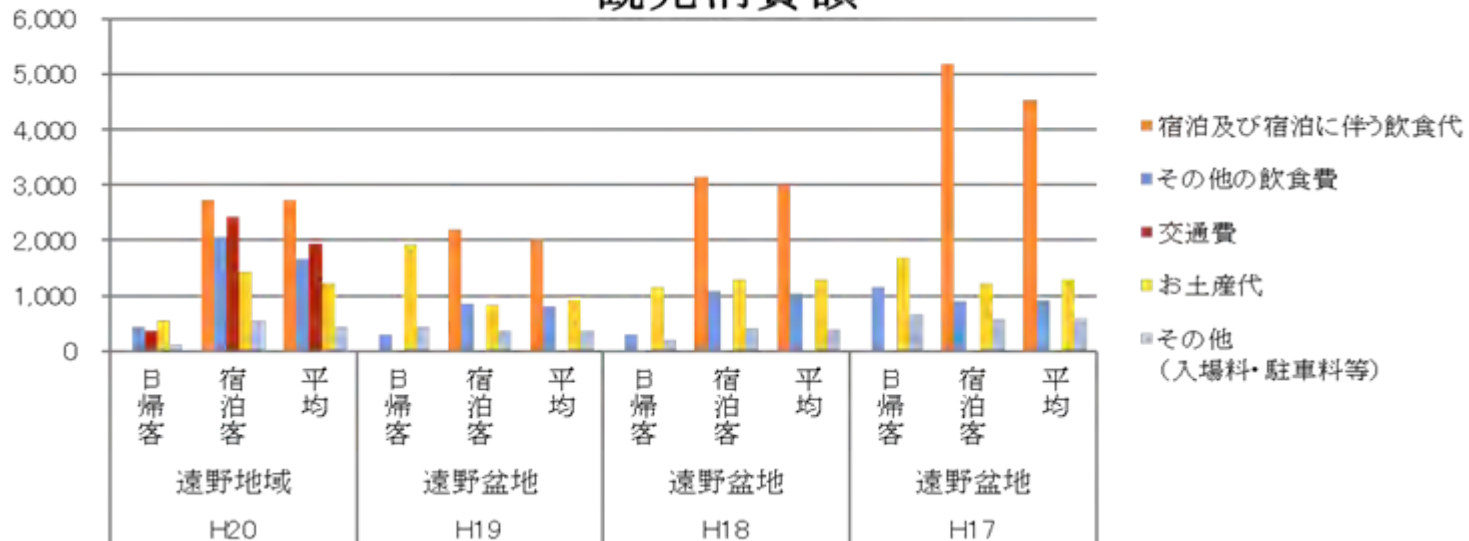
これまでの遠野市の観光 ～観光のまちづくり～



観光消費額（岩手県観光統計から抜粋）

年	観光地		宿泊及び宿泊に伴う 飲食代	その他の飲 食費	交通費	お土産代	その他 (入場料・駐車料等)	計	(単位:円)
H20	遠野地域	日帰客	0	428	352	554	110	1,444	
		宿泊客	2,730	2,062	2,416	1,426	537	9,171	
		平均	2,730	1,667	1,939	1,219	438	7,993	
H19	遠野盆地	日帰客	0	286		1,904	428	2,618	
		宿泊客	2,190	859		821	368	4,238	
		平均	2,012	812		909	373	4,106	
H18	遠野盆地	日帰客	0	300		1,150	200	1,650	
		宿泊客	3,135	1,070		1,301	398	5,904	
		平均	2,993	1,035		1,294	390	5,712	
H17	遠野盆地	日帰客	0	1,140		1,689	667	3,496	
		宿泊客	5,189	895		1,226	577	7,887	
		平均	4,531	926		1,285	588	7,330	

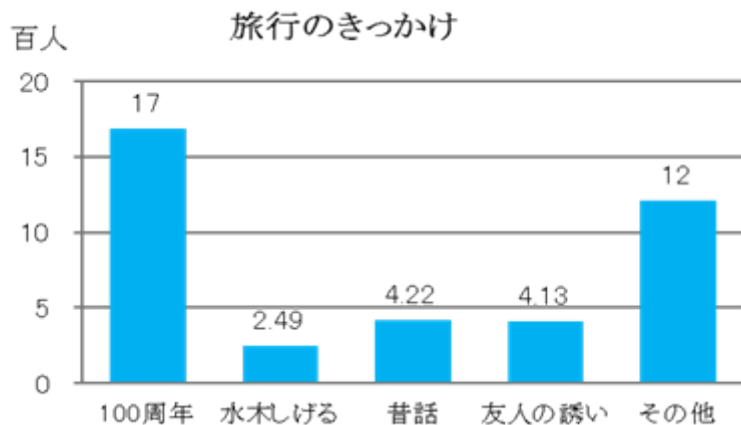
観光消費額



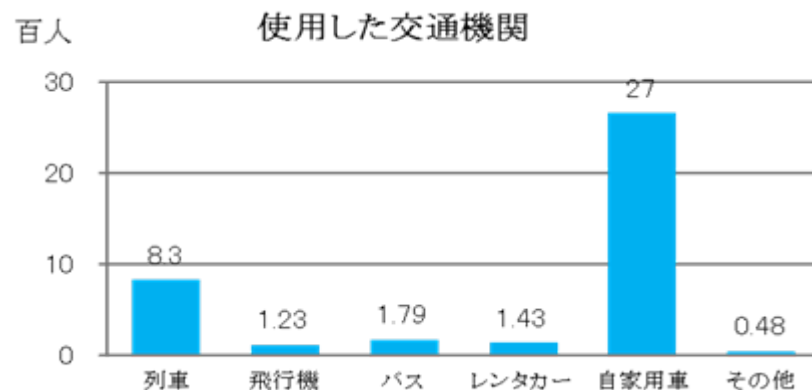
これまでの遠野市の観光 ～観光のまちづくり～



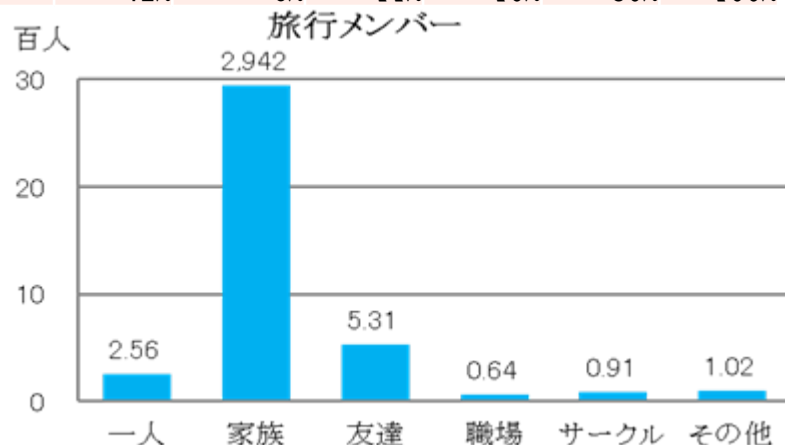
平成22年観光客動態調査結果（遠野物語発刊100周年スタンプラリーアンケート）



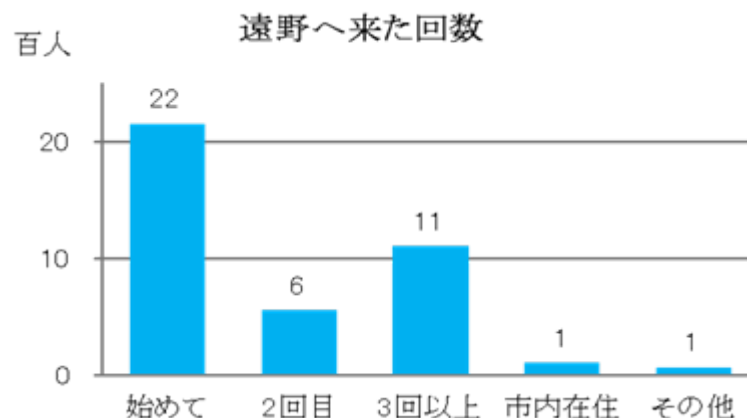
旅行のきっかけ	100周年	水木しげる	昔話	友人の誘い	その他	合計
	1,690	249	422	413	1,212	3,986
	42%	6%	11%	10%	30%	100%



使用した交通機関	列車	飛行機	バス	レンタカー	自家用車	その他	合計
	830	123	179	143	2,663	48	3,986
	21%	3%	4%	4%	67%	1%	100%



旅行メンバー	一人	家族	友達	職場	サークル	その他	合計
	256	2,942	531	64	91	102	3,986
	6%	74%	13%	2%	2%	3%	100%

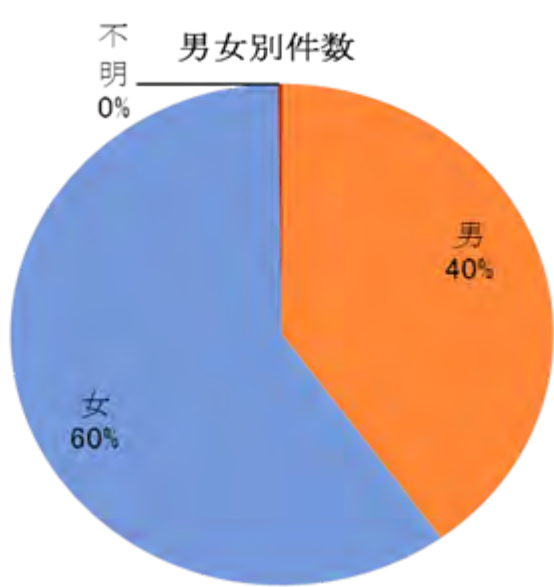


遠野へ来た回数	始めて	2回目	3回以上	市内在住	その他	合計
	2,154	553	1,104	106	69	3,986
	54%	14%	28%	3%	2%	100%

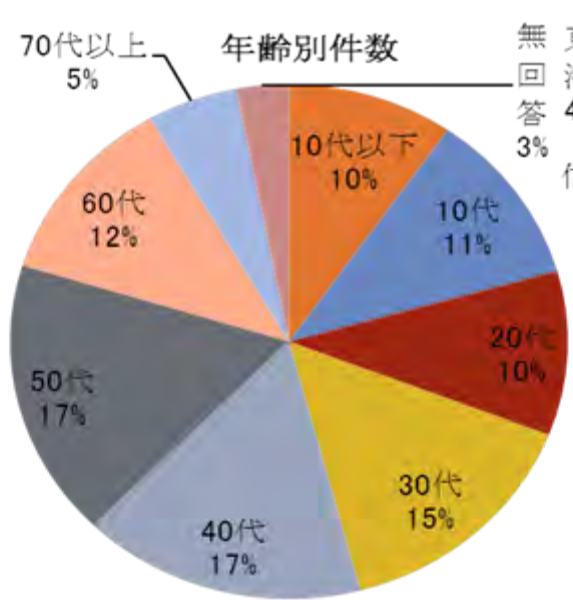
これまでの遠野市の観光 ～観光のまちづくり～



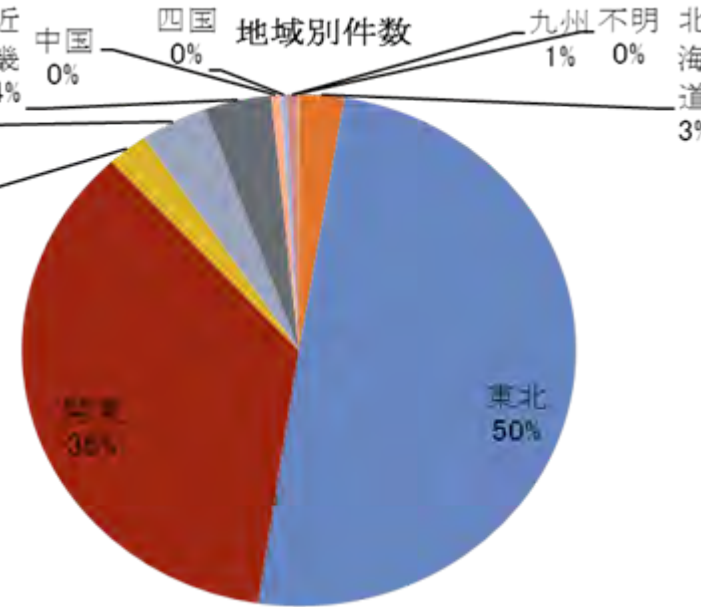
平成22年観光客動態調査結果（遠野物語発刊100周年スタンプラリーアンケート）



	人数	割合
北海道	105	3%
東北	1,982	50%
関東	1,428	36%
信越	95	2%
東海	156	4%
近畿	156	4%
中国	22	1%
四国	13	0%
九州	27	1%
不明	2	0%
計	3,986	100%



	人数	割合
10代以下	384	10%
10代	436	11%
20代	412	10%
30代	596	15%
40代	657	16%
50代	695	17%
60代	475	12%
70代以上	210	5%
無回答	121	3%
計	3,986	100%



	人数	割合
男	1,596	40%
女	2,380	60%
不明	10	0%
計	3,986	100%



福泉寺

大正元年に開かれた真言宗のお寺です。木彫としては日本最大の観音像を安置しており、その高さは17m、顔の長さ2.4mで、重さ25tです。春には桜、ツツジ、秋には紅葉もすばらしく、参拝者で絶えず賑わっています。

創建 大正元年
(1912)

境内総面積
20万㎡



たかむろ水光園

田園都市の理想郷づくりオノピアプランから生まれた、憩いと癒しの施設。宿泊や飲食施設を完備し、太陽熱とトロンシステムで温めた「トロン温泉」を24時間楽しめます。

オープン 昭和56年1月17日

事業面積 6.2ha

総事業費

2,824,779千円



南部曲り家千葉家

今から200年ほど前に建てられた代表的な南部曲り家で、住居部分が122坪、畜舎部分が41坪程の広さです。

自然の地形を利用し、石垣を組み悠然とした佇まいは、さながら城郭のようです。

飛騨の合掌作りとともに日本十大民家の一つに数えられる。

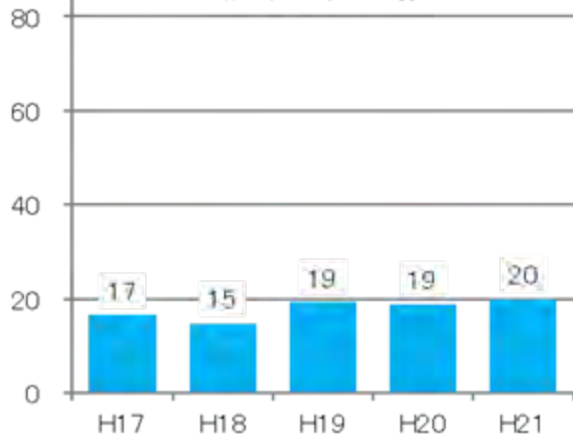
平成19年(2007)に国指定重要文化財に指定されました。

述べ床面積

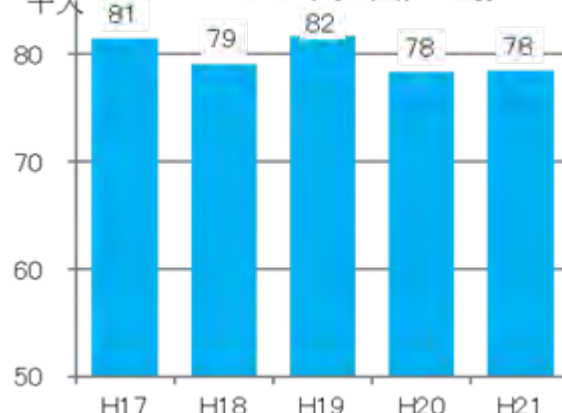
538㎡



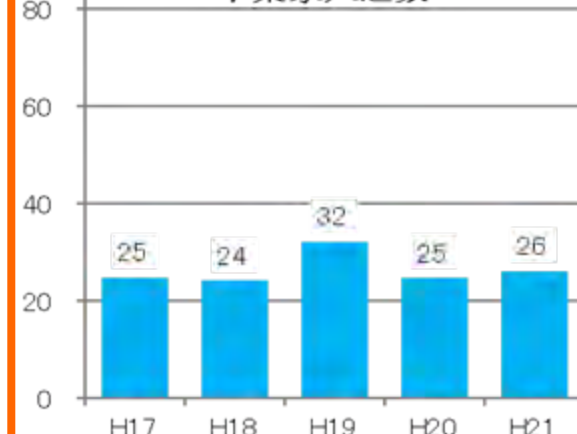
千人 福泉寺入込数



千人 たかむろ水光園入込数



千人 千葉家入込数





遠野市立博物館・図書館

昭和55年に遠野市民の郷土学習の場及び日本最初の民俗専門博物館として開館。平成21年老朽化に伴いリニューアルし、『遠野物語』の著者柳田國男が遠野を旅したときの印象を体験できるゾーン、遠野の「山」「里」「町」の暮らしや文化を紹介するゾーンなどを整備し、平成22年4月にリニューアルオープン。
総事業費
 869,055千円



とおの昔話村

街路拡張事業による取り壊される高善旅館を保存し、新たな文化・観光施設を整備し市街地の活性化を図ることを目的に博物館の分館として整備。

オープン
 昭和55年6月1日
総事業費
 181,035千円



遠野城下町資料館

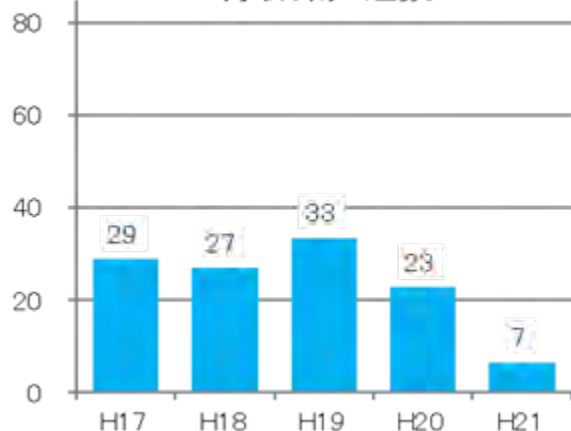
中心市街地の賑わい創出と、城下町や宿場町として発展してきた遠野の武士や商家暮らしと文化を紹介する施設として整備。

オープン
 平成14年3月

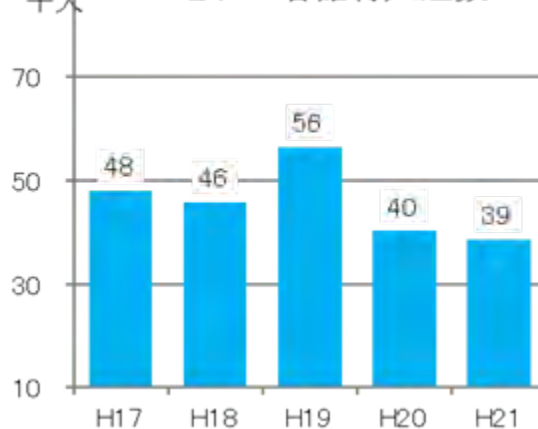
総事業費
 108,177千円



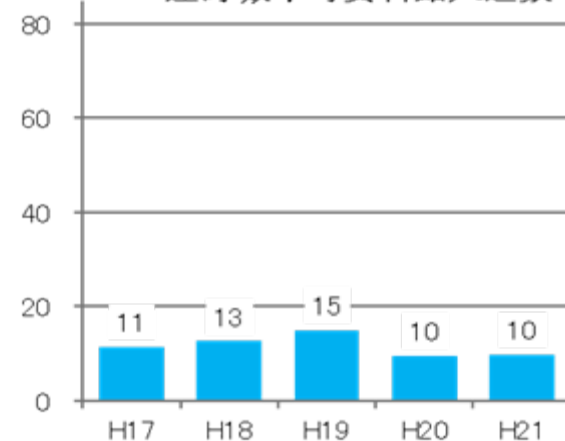
千人 博物館入込数



千人 とおの昔話村入込数



千人 遠野城下町資料館入込数





伝承園

遠野地方における、かつての農家の生活形態を再現した民族伝承施設です。国の重要文化財である南部曲り家「旧菊池家住宅」、「佐々木喜善記念館」等、見て学ぶ施設の他に民芸品の実演制作や地元住民による伝承行事も見どころのひとつです。

オープン

昭和59年6月18日

総事業費

158,600千円



遠野ふるさと村

遠野ふるさと村に一步足を踏み入ると、懐かしい農村の風景が広がります。今では数少ない江戸中期から明治中期にかけて曲り家を移築し、ひとつの集落を再現しました。小川が流れ、水車がまわり、畑があり、あたたかもそこで村人が毎日暮らしているかのようです。

オープン

平成8年4月27日

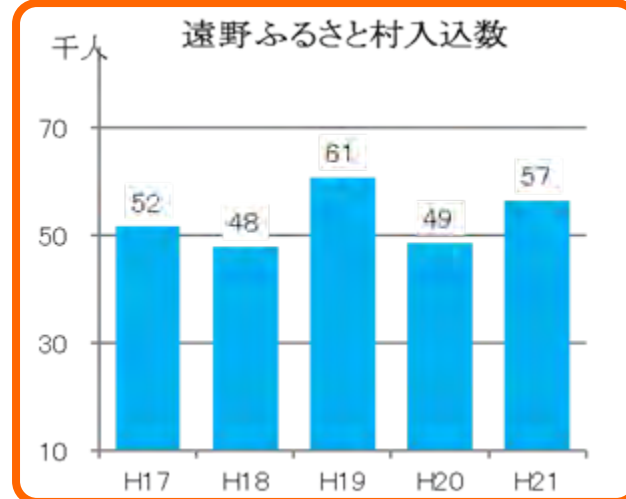
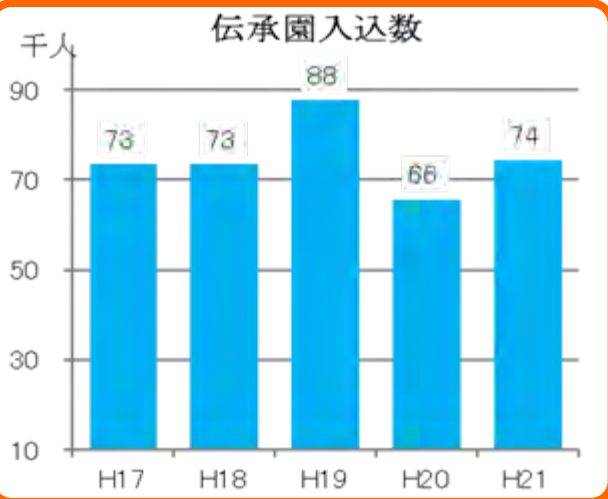
事業費

1,851,877千円



カッパ淵

常堅寺の裏を流れる小川の淵にはカッパが多く住んでいて、人々を驚かし、いたずらをしたといわれています。



五百羅漢

今から200年余りに東北地方を襲ったたび重なる大飢饉は、遠野の人々にも相当な被害をもたらしました。大慈寺の義山和尚が、多くの犠牲者を供養するために、自然の花崗岩に500体もの羅漢像を彫ったといえます。





遠野市の観光推進対策（平成23年度以降）

地域資源を活かした施策の強化

- ・ 市街地観光の再構築…市街地の観光課及び観光スポットの再発見
- ・ 語り部等人材活用の見直し…語り部の統一制度、観光ガイド等の統一化・組織化
- ・ 食の開発…遠野の食文化の確立、観光スポットや食事、土産品の特色化
- ・ 旅行商品の開発…旅行商品造成の強化、長期滞在型観光の推進
- ・ 二次交通の整備…二次交通の整備、駐車場・道路の整備、二次交通手段の整備
- ・ 情報の共有及び情報発信の強化…観光情報ネットワークの体系化
- ・ 遠野ツーリズムの推進…馬や里山を利活用した観光産業の創出
- ・ 「で・くらす遠野」の推進…「で・くらす遠野」市民制度の推進、遠野ブランドの推進
- ・ 国際観光の推進…観光案内板等の整備、観光パンフレットの整備





遠野市の魅力 引き継がれた 先人の遺産

先人が残した遺産は
地域だからの大切な財産

先人のたゆまぬ努力と
語り継いできた昔話



次の世代へ

昔話の語り部 175人
 (うち子ども語り部137人)
 郷土芸能の語り部 63人
 歴史の語り部 83人
 生業の語り部 74人
 計466人



柳田國男 1875~1962

日本民俗学の創始者。
明治42年、大正9年、大
正15年と3度遠野を訪れ
ている。



佐々木喜善 1886~1933

遠野出身の民俗学者。日
本のグリムと呼ばれ、多く
の昔話集を遺している。



遠野物語

明治43年(1910年) 6月刊行

遠野に伝わる伝説や世間話を中心に全119話収録

次の100年 語り継ぐために

地方の元気再生事業

語り部1000人プロジェクト

「馬千匹、人千人の賑はしさ」
(『遠野物語』第2話より)

現代の遠野に甦る…





遠野市の魅力 四季の風景と 郷土の祭り

自然と共生する暮らしの中で
培われてきた風習や祭り...



春



☞ 遠野さくらまつり

遠野南部氏入部行列や、しし踊り、さんさ踊りなどの郷土芸能共演会が見ものです。

遠野夢花火 ☞

遠野の夜空を彩る花火。盆地に響き渡る花火の音は迫力があります。



夏

秋



☞ 日本のふるさと遠野まつり

秋の実りに感謝し、南部ばやしやしし踊りなどの郷土芸能が一斉に乱舞。遠野市最大のお祭りです。

遠野どべっこ祭り ☞



冬



遠野市の魅力 郷土の誇りを 未来へ

郷土の誇りを

次の世代に継承するために
わたしたちができること...



遠野遺産

世界遺産があるのなら **遠野遺産** があってもいい!

地域の誇りを市が認定 ↔ 市民協働で守る!

有形遺産	58件
無形遺産	16件
自然遺産	10件
複合遺産	23件
認定数	107件



遠野市景観計画

遠野市は、景観団体として
遠野の歴史・文化・景観を保全!

● 未来に残したいふるさとの宝

遠野の馬事文化が育んだ特有の景観

■ 重要文化的景観 「遠野 荒川高原牧場」

柳田國男の『遠野物語』の原点をなす馬産の代表的な景観地盛岡藩制時代に南部駒を生産し、馬事文化を生む背景

■ 重要文化財指定 「千葉家住宅」

石垣の上に建物がある「小城のような屋敷を構える大型曲り家」で、特異な敷地構成とともに豪農の屋敷構えが保たれている





まちなか賑わい 創出プロジェクト

城下町の文化 花開く
町家の心が息づく
語らいのまちへ...





交流定住促進 プロジェクト

「交流」から「定住へ」

遠野で暮らす・



交流事業・定住支援



- 移住・定住 相談窓口
- 日本のふるさと再生特区
“どぶろく特区”
- 東北ツーリズム大学
- ツーリズム体験合宿免許

移住者数

(平成23年 1月1日現在)

世帯数	人数
24	48人

ふるさと市民制度

スタイルに合わせて
3つの年会費
ちよこっと市民(千円)
のんびり市民(5千円)
どっぶり市民(1万円)



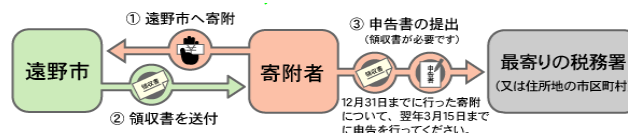
延べ入会者数

(平成23年 1月1日現在)

都道府県	人数
36	869人

日本のふるさと応援寄付金

ふるさと納税制度



寄付金総額

(平成21年度分)

金額	件数
3,356万円	100件